

第 19 回 100 周年記念事業準備委員会会議 議事録

日時： 2026 年 3 月 7 日（土） 15 時～

場所： 山本高校同窓会館 会議室

参加者： 美馬、中田、新堂、中川、坂上、菅野、田中洋之、浅野、堀、山本、新田、池田、田中久夫、嶋野、山内、永田、舟橋、服部、米満、宮崎、日向、木挽屋、田崎、鹿島、川本、日浦、小森、岩佐、黒岡、徳山、川ノ上、辻田、小川、西村、田辺、市川、塩路、谷口、原、洞 （40 名）

報告事項

（1）寄付金収受の状況について

- 4 月に 2 代目山西会長が逝去したことが報告された。
- 故人は最近まで同窓会活動に尽力しており、会長から哀悼の意が表された。

美馬会長による挨拶と寄付金集めの現状と協力依頼があった。

- 東京の同窓会も参加者数が減少し、高齢化が進んでいる現状が共有された。
- 同窓会活動への参加者への感謝が述べられた。
- 寄付金の集まりが芳しくない状況が報告された。

○ 70 歳以上の同窓生約 6,000 名に寄付依頼を送付したが、反応は約 20 名にとどまり、郵送費を賄えるかどうかという程度であった。

- 今後は、各期の同窓会などでの対面での声かけが最も効果的であるとの見解が示された。

寄付金の状況と今後の計画に関する報告。

- 一般寄付金の振込総額は 9,654,832 円であり、目標金額 2,000 万円に対して未達である。
- 特定寄付金（食堂改修目的）は、2026 年 12 月から開始された。

- 70歳以上の同窓生に先行して依頼状を発送したが、郵送料だけで60～70万円かかっている。
- 歴代会長（中川氏、美馬氏、東京の西川氏、前会長の細木氏）からは各100万円の寄付があった。
- 現在の特定寄付金の総額は約600万円であり、目標金額5,000万円に対して大きく未達である。
- 特定寄付金の依頼対象を年齢で区切らず、全同窓生に拡大する。
 - 郵送料を考慮し、同窓会報に募金趣意書を同封する形で実施する。
 - 計画：通常8月～9月発送の同窓会報を、7月中または8月初旬に前倒しで発送する準備を開始している。
- 特定寄付金の第1回締め切りは10月末に設定されている。

（2）寄付者情報の共有とホームページの改修について

- 寄付者情報を共有するため、テーブルごとに寄付者名簿を1冊ずつ配布する。
 - この名簿は部外秘とし、会議終了後に回収する。
- 100周年記念ページの「お知らせ」欄に、準備委員会の簡易的な議事録を廣原副会長が掲載している。
- ホームページ上で寄付金の状況（金額）を定期的に更新する仕組みを構築中である。

（3）100周年記念誌の無償配布対象について

- 100周年記念誌の発行準備が進行中である。
- 寄付金額5万円以上の寄付者には、記念誌を無料で贈呈する。
- 上記に該当しないが購入を希望する方向けに、有料で頒布することを検討している。
 - 販売価格は未定である。

（4）100周年記念式典開催日程について

（令和9年11月20日於プリズムホール）

- 100周年記念式典の日程は2027年秋に決定しており、後ほど正式に発表される。

100周年記念式典および懇親会の詳細決定。

- 100周年記念式典:

催日時を 2027 年 11 月 20 日（土）に決定した。（時間は未定）
開催場所をプリズムホールに決定した。（学校側の希望を反映）

- **懇親会パーティー：**
 - 開催場所をシェラトン都ホテル大阪に決定した。
 - 詳細な内容や時間は未定。
- これらの日時は確定情報として扱われる。詳細は同窓会報に掲載予定。

討議事項

（1）寄付返礼品（クリアファイル）のファイルデザインについて

- 以前の討議で、寄付金 1 万円以上の寄付者への記念品として「クリアファイル 3 枚組」とすることが決定されていた。
- 担当の鹿島氏がファイルのデザイン案を複数用意しており、本日の会議でデザインを決定することが提案された。

記念品クリアファイルのデザイン案について説明し、**3 種類**のデザイン決定を要請。

配布するファイル形式を「見開き」ではなく「**単票 3 枚セット**」に決定した経緯を説明した。

- 当初検討された見開きファイルは、コストが大幅に高くなるという課題があった。
- コスト面を考慮し、標準的な単票のファイルを **3 枚セット**にする形式を採用する。

候補デザインの仕様と選定方法について確認した。

クリアファイルのデザインを選定するための挙手による投票方法を指示した。

投票前に、デザインの組み合わせや修正に関する意見交換が行われた。

各デザイン候補について挙手投票を実施し、票数を集計した。

投票結果を踏まえ、最終的なデザインの組み合わせについて意見を調整した。

記念品クリアファイルセットの内容を最終決定した。

（2）寄付金収受の拡大方法について

記念品の提供方法と寄付の仕組みについて補足説明があった。

- 記念品提供の目的は、若い世代など卒業生の目に触れる機会を作ることにある。
- 1 万円以上の寄付で記念品が「買える」というよりは、提供される形である。

- 寄付金は個人ではなく、同窓会の準備委員会に入る仕組みである。

会員へのアプローチや会議の運営方法について議論。

同窓会名簿を利用した寄付依頼時のアプローチ方法について提案がありました。

- 同窓会名簿に基づき、同窓会に関連する目的で連絡する場合、個人情報保護の観点からは基本的に問題ないとの見解が示されました。
- ただし、電話や対面での最初の声かけが難しいという課題が指摘されました。

グループ単位での寄付や記念冊子の広告掲載に関する複数のアイデアが提起されました。

会報誌を活用した寄付依頼方法について具体的な提案がありました。

他校の事例を参考に、足で稼ぐ地道な寄付活動の重要性が強調されました。

寄付の手順が不明確で行動をためらっている人がいるため、募集要項の配布が決定されました。

寄付のハードルを下げるための具体的な方法として、振込用紙の同封とフローの明確化が提案されました。

寄付金の税制優遇措置について、より具体的な説明の必要性が議論されました。

寄付金の税制控除（所得控除と税額控除）に関する専門的な議論が行われました。

- 相続税申告の期限（10ヶ月）と関連付けて、寄付のタイミングについて言及がありました。
同窓生間のつながりを活用し、寄付に関する情報を広く周知することの重要性が再確認されました。

部活動や同期会など、既存の集まりを寄付依頼の機会として活用する案が共有されました。

法人寄付の実現可能性と、募集要項の積極的な配布について議論されました。

クラウドファンディングや富裕層へのアプローチについて検討。

(3) プレ100周年イベントの開催内容について

山本高校で実施する計画が提案された。

- 寄付金集めの一環として、100周年の1年前にあたる年にイベントを開催する。
- 近年、学校でのイベントが実施されていなかったため、普段の同窓会には参加しない層（例：「久しぶりに母校に行きたい」「母校でやるなら参加したい」と考える層）を呼び込むことを目的としている。
- この目的のため、従来のホテルでの開催ではなく、母校での開催を計画している。
- 日程: 2026年11月21日（土）
 - 学校側の協力も得られており、この日程での開催が承認されている。
 - イベントの時間は企画内容によって変動する可能性がある。

イベントの具体的な企画内容と施設利用の制約について検討された。

- 集客力を高めるためのアイデアが求められている。
 - 各学年が同日に同窓会を企画し、イベントに参加後、近隣の店で二次会を行う案が提案された。
 - 中川氏の落語のような、人を惹きつける出し物や工夫が必要との意見が出された。
- 利用可能な施設と制約事項は以下の通り。
 - **学食:** 利用可能。
 - **視聴覚室:** 約120人収容可能で、利用できる見込み。
 - **体育館:** 原則として使用不可。使用するには専門業者によるシート敷設など大掛かりな準備が必要となり、部活動にも影響が出るため、学校側は難色を示している。
 - **校舎見学:** 学校から許可は得ているが、個人情報保護の観点から校舎内部の写真撮影には規制がかかる可能性がある。
- このイベントの内容は、今年の会報誌に掲載する必要がある。
 - 掲載スケジュール上、次回会議（5月）までに内容を最終決定する必要があり、今回の会議が非常に重要であると強調された。
 - 総会は必須であり、その後、講演会やブラスバンドの映像上映などの企画が検討されているが、場所的な制約も考慮する必要がある。

イベントにおける食事の提供方法とアルコール提供の可否について議論された。

- **食事提供の選択肢:**

1. 全員に同じ弁当を配布する。
2. 参加費（例：1000円程度）を徴収し、学食でカレーやうどんなど好きなものを各自で注文してもらう。
 - この場合、食堂側と準備する食数について調整が必要となる。

● **アルコールの提供:**

- 校内でのアルコール提供は不可とする。 - 学校の規定による。
- この決定に対し、「アルコールがないと盛り上がり欠ける」という懸念や、「学校開催だけでは物足りない」という意見が一部にあることが共有された。
- 参加者が「期待外れだった」と感じさせないための工夫が必要である。

イベント日程の固定理由と、次年度幹事への引き継ぎに関する懸念が提起された。

● **引き継ぎに関する懸念:**

- これまではホテル等で総会を実施し、次年度の幹事はその様子を見学することで引き継ぎが行われてきた。
- 今回は特別に学校で実施するが、来年の100周年本番は再びホテル等でのパーティ形式に戻る予定である。
- この形式の変更により、次年度幹事が「どのようなものだったか分からない」状態になることへの懸念が示され、この企画を推薦した担当者の見解が求められた。

学校開催の意義と決定について、企画推進者からの説明があった。

グループディスカッションで出たイベント内容に関するアイデアが共有された。

- アルコール、タバコは禁止であることが再確認された。
- 校内での飲酒は過去に問題があったが、現在の若い世代はノンアルコールでも問題視しない傾向にあるとの意見が出された。

● **集客のための企画案:**

- 若い世代は「学校開催」という点に魅力を感じ、参加の決め手になるとの意見があった。
- ホテルで同じことをしても参加者数は伸び悩み、メンバーが固定化するが、学校開催なら普段来ない層が参加する可能性がある。
- 演奏会の実施が有効なコンテンツとして提案された。
- 第一資料館の活用や、中川氏による出し物の案も挙げた。
- 学食での食事を希望する声が多く、同級生に声をかけた際も「学食で食べてみたい」という反応が多かった。

イベントの広報と二次会への誘導に関する提案があった。

- **イベントのコンセプト（裏テーマ）：**

- 「あの頃を思い出しましょう」というテーマを掲げ、家族連れでの参加も歓迎し、現在の学校の魅力をアピールする機会とする。

- **広報に関する提案：**

- 次回発行の会報誌「山すみれ」にプレイベントの告知を掲載する際、「お帰りの際には同期で集まれる機会があります」といった二次会開催を促す文言を目立つように記載する。
- これにより、「終わった後に皆で飲めるなら行ってみよう」という参加動機を喚起できる可能性がある。

- **過去の事例：**

- 第39回生が幹事だった際、学年同窓会の参加者は100人超だったが、二次会開催を告知したところ、二次会のみ参加者も含め140名が集まった実績がある。
- 学校に来て同期やクラブの仲間と会い、その後二次会へ流れるという形を想定している。

吹奏楽部の定期演奏会をプレイベントとして活用する提案がなされた。

- **イベント概要：**

- **イベント名：**山本高校吹奏楽部 定期演奏会
- **日時：**4月26日（日）13:30 開場、14:00 開演（予定）
- **場所：**八尾市文化会館（プリズムホール）
- **内容：**現役生徒（約20名強）による1部・2部と、若手OB/OG（十数名）が加わった3部構成。総勢約40名での演奏会となる。

- **提案内容：**

- この演奏会をプレ100周年企画の一環と位置づけ、同窓生に来場のきっかけを提供し、合わせて同期会などを開催してもらうことを促す。
- 担当者（吹奏楽部 OB）がメインで関わっているため、連携が可能。

食堂の価格変遷を提示して面白みを出すアイデアが提案された。

老朽化した食堂の現状を体感してもらうことが、建て替えへの寄付を促す上で重要であると議論された。

現在の食堂は味が向上し、メニューも豊富になっていることが共有された。

次回の総会についても出欠確認を行う方針が確認された。

総会での余興として落語や音楽演奏が提案されたが、意見が分かれた。

余興の候補として特定の人物（西口くん）を呼ぶ案が挙がった。

大学の吹奏楽部や応援団の演奏を余興とするアイデアが提案された。

総会での余興に関して、落語よりも参加者の関心を引く他の企画を優先すべきとの意見が出た。

総会自体の内容は簡潔にし、その後の懇親企画に注力する方針が示された。

[現役学生によるパフォーマンスを余興とする案が検討された。]

総会の企画としてクイズや演奏が有効だった過去の事例が共有された。

食堂での食事をメインイベントとし、同窓会報での告知内容を5月中に決定する必要がある。

総会の企画として、資料館の見学を任意で追加する案が提案された。

総会企画の具体化に向け、少人数の実行委員会で案を練る体制が決定された。

- 徳山実行委員長, 西村副実行委員長, 他有志 - 総会企画の原案を作成し、次回会議で提案する - [期日：次回5月9日の会議前]。
- 次回の会議は5月9日であり、そこで企画を決定し、5月中旬までには同窓会報の原稿を完成させる必要がある。

企画の方向性として、食堂の現状を伝えることに重点を置くことが再確認された。

企画実行委員会への追加参加者が募られ、数名が加わった。

その他事項

(1) 次回および次々回の会議日程が確認・変更された。

9月の準備委員会の日程を9月19日に変更することが決定された。

- 次回の会議は5月9日15時から行われることが最終確認された。

募金者名簿について報告があり、特定寄付の状況が共有された。

懇親会の場所が案内された。

- 会議終了後の懇親会は「やたい寿司」で行われることが案内され、参加が呼びかけられた。